



2020年4月18日

社会保障を考える 春季シンポジウム

現在、高齢者や障害者等の単身世帯やその予備軍が増えることで、誰でもが貧困、孤立、ひきこもり、といったリスクに遭遇する危険性が高まっています。これまでと比べて家族の機能が低下し、様々な社会のゆがみが露呈しています。それを是正するためには、私たちが「支えあう社会」を築かなければなりません。

その可能性の一つとして、ソーシャルワーカーとしての社会福祉専門職の役割が期待されていますが、その資格や機能を含め法的な定めが必ずしも明確ではありません。ソーシャルワーカーとは、福祉サービスの提供者なのか、それとも社会の変革者なのか、その資質を含めた価値や理念についての議論を深めることにします。

第1部 シンポジウム

テーマ：「地域共生社会とソーシャルワーカーの役割」

日時：2020年4月18日 午後1時30分～5時

会場：同志社大学 良心館 RY105 教室（定員230名）

参加費：1000円

1 権利擁護に求められるソーシャルワーク専門職の役割

五百木 孝行（社会福祉士・一般社団へいあん後見福祉ネットワーク代表理事）

判断能力の低下した身寄りのない高齢者や障害者等への支援と保護に対し、成年後見制度はどのように機能しているのか、支援の現場を通して見えてきた課題を語ります。

2 働き続けられる社会の実現に向けた社会保険労務士の役割

小林 さゆり（社会保険労務士）

非正規労働者の安定の雇用、処遇の改善、職業スキルの向上、社会保険の適用、更には生活困窮者の年金受給権の発掘など、生活安定機能の強化に向けた社会保険労務士の社会的役割を考えます。

3 ホームレス支援からみた生活困窮者自立支援制度と地域共生社会

中野 加奈子（大谷大学・社会福祉学）

現在、厚生労働省は、「地域共生社会」「我が事・丸ごと」という福祉政策を提唱しています。それは、「自助」や「共助」を通し地域住民や事業者等にサービス提供を「強制」するものである、との批判もあります。格差、貧困が広がる中で、ソーシャルワークの現状を問い直します。

◆ コーディネーター：笹尾 達朗（認定 NPO 法人あったかサポート常務理事）

第2部 名刺交換会

日時：午後5時30分～7時30分

会場：「おおたや」烏丸夷川東入ル

参加費：5000円（但し、第1部参加費を含む）

★ 参加お申し込みは裏面をご利用ください

主催
・ 認定 NPO 法人 あったかサポート
・ 一般社団法人 へいあん後見福祉ネットワーク
後援
・ 同志社大学社会福祉教育・研究支援センター

☎ 075-352-2646

✉ attaka-support@r6.dion.ne.jp

日時：2020年4月18日(土)

第1部 シンポジウム 1時30分～5時(受付開始1時)

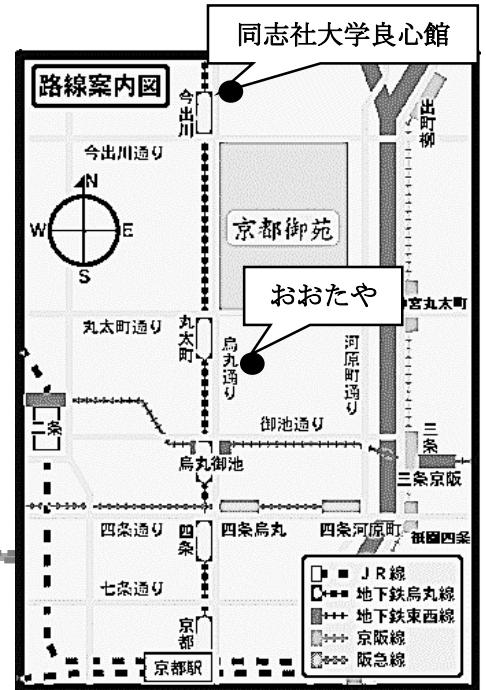
参加費：1000円

会場：同志社大学 良心館 (烏丸今出川上ル東側)
地下鉄「今出川駅」 連絡出口

第2部 名刺交換会 5時30分～7時30分

参加費 5000円(シンポジウム参加費含む)


会場：「おおたや」にて(烏丸夷川東入ル南側)
地下鉄「丸太町」駅 7番出口



参加申込書

下記の通り参加を申し込みます

年 月 日

参加 いずれかに チェック	<input type="checkbox"/> 第1部 シンポジウム のみ参加	<input type="checkbox"/> 第1部・第2部 シンポジウム・名刺交換会 両方に参加	<input type="checkbox"/> 第2部 名刺交換会 のみ参加
会社・団体 名など			
フリガナ 御氏名		フリガナ 御氏名	
フリガナ 御氏名		フリガナ 御氏名	
ご住所	〒		
電話			こちらからも お申込み いただけます。 ⇒ 
FAX			
e-mail			

※提供いただいた個人情報は講座などのご案内や緊急連絡のみに利用させていただきます。